

キャンプファイヤー 準備と片付けの仕方について

国立三瓶青少年交流の家
2025（令和7）年4月更新

この資料は、国立三瓶青少年交流の家でのキャンプファイヤー実施の仕方について、主に準備と片付けのポイントを記載しています。

I 事前会場準備（原則として16:00開始）

会場準備開始時刻の約10分前に、準備担当の人（引率者と児童生徒）は事務室にお越しください。

【1】事務室での「まことの火」のランプ、貸出物品の受けとり

事前にご提出いただいた「確認表」に沿って、職員と共に購入物品や貸出し希望物品の数を確認し、「まことの火のランプ」とその他、音響機材などの貸出し物品を受け取ります。



「まことの火」のランプ

【2】第1営火場倉庫からの物品搬出

交流の家の職員と共に第1営火場の倉庫に移動し、以下の物品を用意します。

※第2営火場が会場の場合も物品は第1営火場から搬出します。

○トーチ（必要本数）



○ざる



○たき火台と薪を組むための円筒状の骨組み



↑たき火台

円筒状の骨組み→



○着火剤（トーチ1本につき2個）



○金属製のバケツ



○灯油2L



○火ばさみ



○革手袋とペンチ



【3】薪の運搬と火床の設置

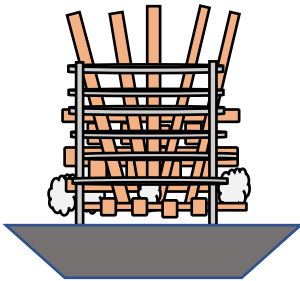
(1) まき置き場から薪を 10 束運びます。

※第 1 営火場、第 2 営火場ともに、リアカーがあります。

必要に応じて薪の運搬時に使用してください。

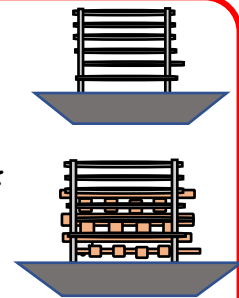


(2) 会場中央に下記の図のようにたき火床を設置します。



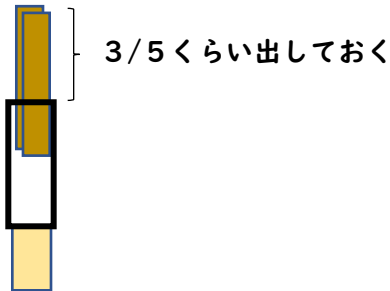
手順①: たき火台を置き、上に円筒形の骨組みを置く。

手順②: 薪 1~2 束を使って井桁を作り、すき間に薪を縦に差し込み、四隅には灯油をしみこませた新聞紙を設置します。



※残った薪は中央周りに置いておき、キャンプファイヤーが進行している時、少しずつ補充します。

【4】トーチの準備



☆トーチ 1 本につき、着火剤を 2 個を使います。

☆2 個の着火剤を合わせて、トーチの中に入れていきます。

※力の入れる向きを間違えると、着火剤が折れてしまうのでゆっくり少しずつ入れてください。

☆文化焚き付けは 3/5 程頭が出るようにしてください。

・出来上がったトーチはペール缶に入れておいても OK です。

【5】薪に灯油かける ※開始までのところで

【団体の方に絶対に忘れないでほしいこと】

点火時と消火確認時に警備員に連絡してください！

☆当日お知らせする警備員の携帯電話番号に電話してください。

電話を受けて警備員が大田市消防三瓶出張所へ連絡しています。

3 事後の片付けについて

【当日の片づけ】

(1) 水入りドラム缶でトーチの消火をします。



第1 営火場のドラム缶



第2 営火場のドラム缶

(2) ペンチで着火剤を外し、ザルに入れます。

(3) たき火台の薪を燃やしきります。

※消火した着火剤は、たき火台の中の薪と一緒に燃やし尽くしてください。

(4)放水して完全に消火します。

※第1 営火場・第2 営火場共に備え付けのホースで消火します。



第1 営火場のホース



第2 営火場のホース

(5) 灯油缶やペンチ、革手袋と事務室からの貸し出し物品は夜のうちに事務室に返却してください。



こちらに灰捨て場があります。



【翌朝の片づけ】

(6) 翌朝 炭をペール缶に入れて「灰捨て場」(野外炊飯の時に使うところ) に捨てます。

☆上手なキャンプファイヤーをする上でのポイント

- (1) 金属製のバケツに新聞紙入れ、これに灯油（200ml くらい）を回しかけて井桁に入れます。
- (2) 灯油は最後に薪を炭にする時のために（500ml くらい）とっておくとよいです。
- (3) 分火の時には以下の点に注意してください。
 - ① 受ける人が風下にならないこと。
 - ② 受ける時は両手でトーチを持ち正面に突き出すようにすること。

☆第2 営火場からトーチ棒を持ってくる場合

- 第1 営火場のトーチだけでは足りないときは、第2 営火場のトーチを持ってきてください。
- 第2 営火場からトーチを持ってきたときは、翌朝にトーチを第2 営火場に返してください。



- 第2 営火場の倉庫にトーチが入っています。
- ※ 「かんぬき」を外すと倉庫に入ることができます。